

迎春



三ツ峰初冬

北海道森林管理局 知床森林センター
〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町11番地
電話 0152-23-3009 FAX 0152-23-3160
ホームページ <http://www.shiretoko.go.jp/>





平成21年もよろしくお願い致します



新年あけましておめでとうございます。

昨年を振り返ってみますと、北海道洞爺湖サミットの開催もあり、環境や森林に関しての国民の関心も高かった年でありました。センターで主催した9回の森林散策やネイチャークラフトなどの様々なイベントにも多くの方にご参加いただきました。

また、5月には、知床における国民参加の森林づくりや森林環境教育等の活動の拠点となる「知床ボランティア活動施設」がオープンし、オープン記念イベントとして地元ウトロ小中学校の児童を対象に木工体験（写真右）を実施し、以降、森林や自然に関するレクチャーのための利用やクラフト体験、展示の見学など延べ2,500の方が施設を利用させていただきました。



一方、「知床永久の森林づくり協議会」関係では、平成19年7月から検討を進めていました「知床における国民参加の森林づくり活動の推進に関するビジョン」が3月に策定され、ビジョンの実践活動として、「知床の森を守り、育てるエコロジカル体験ツアー」が、北海道森林管理局・北海道の共催で開催された「森林のつどい2008育樹際」に併せて9月下旬に開催され、首都圏から17名が参加し間伐体験（写真左）のほか、知床の森林や自然に親しんでいただきました。

平成21年は、昨年の「知床ボランティア活動施設」に続き、知床森林センターの事務所もウトロへ移転し、世界自然遺産知床における森林づくり活動や森林環境教育の積極的に推進すると共に、各種調査活動や地域住民を対象とした様々なイベントの開催など、ウトロを拠点とした様々な活動を展開していきたいと考えます。

さらに、「知床永久の森林づくり協議会」も3年目となり、国民参加の森林づくり活動の推進などビジョンの実践に向けた取組も本格的にしていくこととなります。

今年も、森林センターとして知床の森林や自然に関する様々な活動を、地域の方々をはじめ多くの皆様のご協力のもとに取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

今年は丑年！

今年の干支は『丑』です。知床の森林には牛はいませんが、同じ偶蹄目の動物である鹿は沢山います。

近年急増したエゾシカは、知床の森林に樹皮食い等の被害をもたらしていますが、バンビの愛らしさや雄々しい角が魅力の雄シカの姿は、遠方からの観光客の目を楽しませてくれます。

エゾシカはニホンジカの1亜種で、オスの体重は130キロにもなります。ウシの大きさには及びませんが、知床と同じ世界自然遺産の屋久島にいるヤクシカは30キロほどといえますから、その大きさは目を見張るものがあります。

さて、ウシとシカはどちらも角を持っていますが、角の違いをご存知でしょうか？ウシの角は、堅く骨の芯があり枝分かれせず、一生伸び続けます。一方、シカの角は枝分かれし、袋角は柔らかく、毎年生え替わります。ちなみに、カモシカはシカ科ではなくウシ科に属し、角も生え替わりません。

このように、地域や種の違いを感じながら動物を観察してみると面白いかもしれません。

最後に...十二支とは、お釈迦様のもとに新年の挨拶に来た動物をその順番に割り当てたという話がありますが、その13番目に来た動物は、なんと『鹿』だったという逸話もあるそうです。



第76回 森とのふれあい

～森の恵みを使ってクリスマスリース作り～

12月3日(水)に、第76回森とのふれあい「森の恵みを使ってクリスマスリース作り」を開催しました。今回は、平日午後の開催であったため町内に住む主婦を中心とした女性17名の参加がありました。毎年クリスマス前の恒例となっているイベントですが、今回の講師も町内で華道教室を開く古川範子先生に務めていただきました。



参加者は、リース作りの材料や作業手順の説明を受けた後、さっそくトドマツの枝先を使ってリースの輪を作る作業に取りかかりました。作業中、トドマツから漂う香りに皆さんからは「とっても良い香り」、「森林浴をしている様だ」との声が上がりました。リースの輪が完成したあとは、リボンやベル、マツボックリなどの飾り付けをする作業です。皆さん納得のいく作品を作ろうと、色々な飾りを手に取り、考えながら飾り付けをしていました。あっという間に終了時間を迎え、約3時間で17個のオリジナルリースが完成しました。参加者からは「思っていたよりリース作りが難しかったが、とても楽しかった」「手作りこんなに豪華な作品が出来て大満足」との感想がありました。



平成20年度 国有林業務研究発表会

～森林技術部門で発表しました～



11月27日(木)に東京都霞ヶ関の林野庁で国有林業務研究発表会が開催され、全国から代表者が集まり、森林技術部門15件と森林ふれあい部門13件の計28件の発表が行われました。

当センターからは「コドラート法によるエゾシカの植生食圧調査」と題した発表を行いました。

発表の中では過去10年間の柵内外の定点写真による植生の変化の推移や平成19年に行った全推定法による植生調査、エゾシカによる被害の状況などを発表しました。

惜しくも賞は取れなかったものの、全国に向け知床におけるエゾシカ被害の深刻さを伝えることが出来ました。



発表する戸口田緑化第二係長



知床 は今

新年、あけましておめでとうございます。

早いもので知床森林センターに勤務して2回目のお正月を迎えました。外は一面銀世界で、いよいよ冬本番といったところです。

雪が降り寒々しいこの季節ですが、森林（もり）の中では動物たちがたくましく生きています。冬は他の季節よりその痕跡が容易に発見できる季節です。

写真は、餌を見つけたのか、敵（捕食者）に追われているのか、分かりませんが、エゾユキウサギの足跡です。

ウサギは、前足を縦方向に並べてつき、その前方にジャンプ力のある後足が横並びにつきます。典型的な「T時型」足跡です。



エゾユキウサギの足跡

ウサギの足跡は雪上での足跡探し（アニマルトレッキング）では代表的なものです。この他に雪上では、いろいろな動物の足跡、食べ残し、糞などを見つけることができます。みなさんも近くの公園、森林などに出かけ、動物の痕跡を発見してみませんか？
(須)



新規採用者紹介

ひさだ すぐる

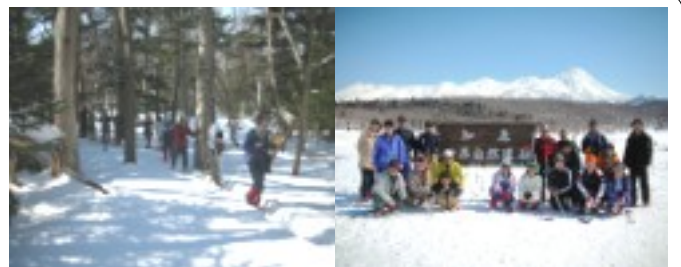
12月1日付けで新規採用になりました久田 卓です。出身は網走市、先月まで札幌で医療器械の営業をしていました。趣味はひとり旅です。3ヶ月間かけ、原付バイクで日本を一周したこともあります。

今回は、幸運にも地元知床に貢献できる職場に配属され、大変うれしく思っています。民間での経験を活かしてがんばります。よろしくお願いいたします。



1月～3月のイベントのお知らせ

詳しくは
知床森林センターHP (<http://www.shiretoko.go.jp/>)
が電話でご確認下さい。



| 実施月日 | イベント名 | 場所・定員 | 申し込み時期 |
|----------|-----------------------------|----------------------|-------------------------|
| 1月10日(土) | 冬休み企画 親子ネイチャークラフト体験 | 知床森林センター 30名 | 12月4日～1月8日 定員になり次第〆切 |
| 2月12日(木) | 冬ならではの！ 静寂の森を歩くスキーで散策しよう | オシンコシン周辺 の国有林 23名 | 決定しましたら HPでお知らせします |
| 3月1日(日) | かんじきを使って冬の森林を散策しよう | フレベの滝周辺 の国有林 23名 | 決定しましたら HPでお知らせします |



この広報誌は道産間伐材を使用しています。